

第4回道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応に関する第三者調査委員会 議事録

- 日 時 : 令和3年10月12日(火) 15:00~15:30
- 場 所 : 函館国際ホテル 8階 スカイバンケット
- 出席者 : 別紙
- 議 題 : 調査結果のとりまとめについて

1 開会

(事務局) それでは、定刻でございます。ただ今から、第4回道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応に関する第三者調査委員会を開催させていただきます。司会を担当させていただきます、看護政策係主査の齊藤でございます。よろしくお願いいたします。お手元に配付しております、資料の確認をさせていただきます。まず、次第と出席者名簿。以下、第三者調査委員会の作成資料となりますが、調査書の原案でございます。不備がございましたら事務局までお申し出ください。

それでは、開会に際し、北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課看護政策担当課長の田原よりご挨拶を申し上げます。

(事務局) 北海道保健福祉部看護政策担当課長の田原でございます。本日は、座長をはじめ、各委員におかれましては、大変お忙しい中、お集まりをいただき、心より、感謝を申し上げます。さて、第三者調査委員会におかれましては、5月27日に、第一回目の調査委員会を開催後、客観性を確保しつつ、丁寧に、事実確認の作業等を進めていただき、心より、感謝を申し上げます。本日は、第4回目の第三者調査委員会ということで、「調査結果のとりまとめについて」、最終段階のご意見等をいただきますので、よろしくお願い申し上げます。道といたしましては、学生の皆様が、学業に集中できない状況になっていることにつきまして、大変、重く受け止めており、道立高看の学生の皆さんが、速やかに安心して、学業に集中できる環境が確保できるよう、取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日お集まりの、各委員の皆様におかれましては、調査を通じまして、お力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます、簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく、お願い申し上げます。

(事務局) それでは、このあとの、議題の進行につきましては、山内座長に、お願いしたいと存じます。山内座長、よろしくお願いいたします。

2 議題

(山内座長) はい。それでは、早速、議題に基づき、議事を進めていきたいと思っております。

まず議題の(1)「調査結果のとりまとめについて、私から、説明いたします。

調査書原案の中の第二「本件事案の事実」について、5の第三者調査委員会がハラスメントとして認定した件数について、数字を確定させていきたいと思っております。学生数、対象事案数、教員数等でございます。

それでは、まず学生数については、ハラスメント事案申出者30名のうち、無記名やハラスメント行為者名が無記載の方を除き、調査の対象とした学生を24名とした。うち、自身がハラスメントを受けたとの訴えがあった学生は18名。うち、ハラスメントを受けたと認定した学生は14名であ

りました。

次に、教員につきまして、学生からの聞取調査をふまえ、調査の対象とした教員は15名。うち、ハラスメントを行ったと認定した教員が11名でした。

次に、調査対象事案件数につきましてですが、総数は、延べ101件です。

うち、事実と認められるラージAの内、ハラスメントとして認定したものの、スモールaが47件です。不適切な指導・対応であるもの、スモールb-1が31件です。不適切な指導・対応とはいえないもの、スモールb-2が3件でございます。次ですね、事実とまでは認められないが事実である可能性が高い件、ラージBです。そのうちハラスメントとして認定したものの、スモールaは5件です。不適切な指導・対応であるもの、スモールb-1が4件です。不適切な指導・対応とはいえないもの、スモールb-2が0件。ラージA又はラージBに至らないものが11件となっております。件数については本日、道保健福祉部に、報告したいと思っております。あわせて何ですけど記者発表前に父母の会の会長さんにお伝え、これを事務局にお願いしたいと思っております。

(事務局) はい。

(山内座長) 次に、調査書(原案)の内容ですが、第7の学生の救済策、第8の再発防止策、第9の本調査を終えるにあたってについて、ご議論をいただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

(藤井委員) 第7の救済策についてですが、まず、1のはじめのところについて修正が必要と感じています。私の意見を読み上げます。

第三者調査委員会としては、ハラスメント事案申出書において、学生や元学生が求める救済策のうち、学院側に極めて不適切な対応があり、ハラスメントとの因果関係が強く疑われる事案については、道に対して、学生や元学生への個別的救済の検討を求めることとした。なお、第三者調査委員会が道に検討を求める下記の救済策以外にも、ハラスメントを受けた学生や元学生に対して慰謝料等が発生する事案があると思われるため、道において、学生や元学生への救済策を検討すべきと考える。また、学生や元学生への個別的救済に加えて、教員の人事についても検討すべきである。江差高等看護学院では、現在在籍中の学生が教員のハラスメントにより多大な苦痛を受けており、学院の正常化のためには、学生の心情に配慮し、ハラスメントに関与した教員の今後の配置を考える必要がある。なお、紋別高等看護学院については、現在在籍中の学生からの申し出がなかったことから、人事の刷新は求めない。人事については、各委員の共通の意見に加えて、私、藤井委員の意見を補載する。では、いかがでしょうか？

(山内座長) ありがとうございます。他に何かございますでしょうか？

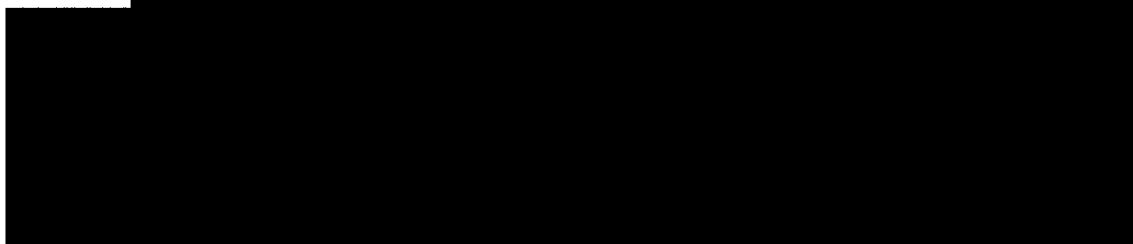
(一同) 大丈夫です。

(山内座長) それ以外に第7、第8、第9のところでございますでしょうか？

(平松委員) はい、2の救済策についてよろしいでしょうか？

(山内座長) はい、平松先生お願いします。

(平松委員) 2の救済策について、(1)学生や元学生への個別的救済策、道として検討すべき事項についてですが、



(山内座長) はい、ありがとうございます。それでは他に何か第 7、第 8、第 9 につきましてご意見等ありますでしょうか

(藤井委員) 第8の再発防止策についてですが、内容は固まっておりますし、修正意見等はございませんが、優先順位等を考え内容の順番を、入れ替えてはいかがでしょうか。

順番は、1のはじめにはそのまま、2・組織の改革、3・人事制度の見直し、4・教員の再教育、5・適切で実効的な研修の実施、6はそのまま職場環境の改善、7・学校現場の外部への開放等、8・学生同士が学び合う体制づくり、9・ガイダンス機能の充実と学生・保護者との間の方向性や情報の共有、10・実効的な通報窓口の設置、最後は同じで小括、に変えてはいかがでしょうか。

(山内座長) それでは、ただいまの内容を、調査書に盛り込むことにしたいと思いますがいかがでしょうか。

(一同) 異議なし。

(山内座長) 先ほど私、件数のところを報告したいと申しましたが件数自体はこれで間違いないでしょうか。

(一同) 良いです。

(山内座長) それでは先ほどの件数を確定して報告しようと思います。加えて先ほど平松委員と藤井委員からいただいたご意見について報告書に盛り込むこととしたいと思います

最後に、第九の本調査を終えるにあたってですが、まず、各委員が記載いただいた、ご意見を掲載することとし、小括についてですが、みなさんのお考えいただいた、エッセンスを足し上げますと、江差、紋別両高等学院は、北海道の地域医療を支える重要な看護師養成施設である。現状において在校生は辛い状況の中、看護師を目指し日々努力を重ねている。その学生の思いに寄り添い、学生と共にあり、改善の意欲ある教員もいる。

また、全道各地には地域医療を支え活躍している多くの卒業生と、現状の改善に協力を惜しまないという看護師達も多く存在する。もしも今回のハラスメント問題をきっかけに両学院が失速することでもあれば、北海道の地域医療も危機に瀕するかもしれない。早期に学院の正常化を図り、再出発後は学生から選ばれる魅力的な学院へと生まれ変わることで、必ずや、学生、保護者、地域社会から信頼される看護学院として再生できると確信する。

という内容で、いかがでしょうか？

(一同) 異議なし

(山内座長) ありがとうございます。それでは、第 9 の小括についてただいまの内容を、盛り込むことにしたいと思います。

それでは、ここで、10分程度、休憩を挟みたいと思います。

(山内座長) それでは、再開いたします。議題(2)のその他の部分ですが、ただいま、「調査書(原案)」の内容に追加・修正等が生じたので、わたくし座長にご一任をいただき、追加・修正等の上、本日から、一週間以内に、道に提出したいと思いますがいかがでしょうか。

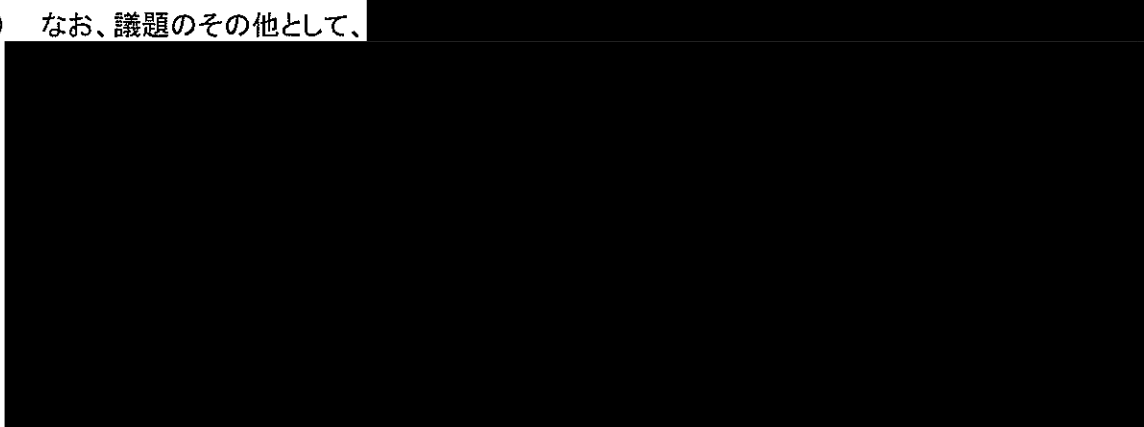
(一同) 異議なし

(山内座長) ありがとうございます。それではそのように対応させていただきたいと思います。次に、本調査委員会終了後の、マスコミの取材対応について、であります。座長のわたくしから説明を申し上げるにあたり、口頭の説明では、わかりづらいと思うので、休憩時間に、マスコミに配布する資料を作成したので、ご確認願います。

それが調査書の全体の構成 資料-1、第三者調査委員会として、調査にのぞむ姿勢や事実確認の方法 資料-2、第三者調査委員会としてハラスメントとして認定した件数 資料-3に基づき、ご説明を申し上げることといたしますが、いかがでしょうか。

(一同) 異議なし

(山内座長) なお、議題のその他として、



(一同) 異議なし

(山内座長) それでは、議題は、以上であります。議題の全般を通して、何かございますでしょうか。

(一同) なし

(山内座長) 無ければ、議題の審議等を終了いたします。どうもありがとうございました。
それでは、司会に、お返しいたします。

(事務局) 山内座長、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第4回 道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応に関する第三者調査委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。